

2025 年度 武田中学校高等学校 インターアクト部活動報告



2025年度 武田中学校高等学校 インターアクトクラブ活動報告

当クラブは月，水，金曜日を全体活動日とし火，木曜日は自主活動日としております。本稿では紙面の都合で通常の活動は割愛させていただきます。

<7月>

オーストラリア シドニーのヒルズグラマースクールの生徒と一緒に平和学習を行いました

姉妹校のヒルズグラマースクールの来校の期間中、共に様々な角度から平和について学習しました。平和公園、平和記念資料館を見学し、その後、被爆者である小倉桂子さんの証言を聴きました。生徒たちは、原爆による被害の実相と被爆者にもたらされた深い悲しみに触れ、平和の尊さを心の底から感じたようでした。また、市民団体「核政策を知りたい広島若者有権者の会」（カクワカ広島）の瀬戸麻由さんをお招きし、核兵器の惨禍を世界からなくすために広島の若者たちがしていることについて話をうかがいました。さまざまな角度から平和の大切さや戦争を回避する方法について学び、ヒルズグラマースクールの生徒にとっても、本校生徒にとっても、忘れられない平和学習になったことと思います。



<9月>

文化祭でインドネシアの伝統焼き鳥「サテ」を販売しました

当クラブは長年に渡り東広島市のインドネシアコミュニティと一緒に活動させていただいており、何度も美味しいサテをご馳走になってきました。このおいしさを他の生徒や保護者にも味わってほしいという思いから、近年は文化祭の模擬店で販売しています。インドネシアから本場のソースを取り寄せ、インドネシアの方にアドバイスをいただいて仕上げる本格的な一品です。あまりの人気で午前中で完売しました。



<10月>

中国四川省の高校生と交流しました

広島県と四川省は長年友好都市関係を結んでおり、本校インターアクト部からもこれまでに多くの生徒が県の国際交流事業などで四川省を訪問しています。今回は数名の部員がホストファミリーとして受け入れ、素晴らしい時間を共有しました。1日目は四川の高校生の日本の高校生活体験をサポートし、授業体験、茶道体験、相互文化紹介活動を行いました。



2日目は平和公園に行き、共に平和学習を行いました。両国は歴史認識の相違が取りざたされることもありますが、お互い真剣に学び、平和に向けたディスカッションを行いました。



本通り周辺での自由行動となりました。四川の生徒たちは、武田生のサポートのもと、お土産を購入したり、日本のアニメグッズを探したりと、それぞれが思い思いの時間を楽しみました。緊張がほぐれた様子で笑顔があふれ、買い物をしながら互いの文化や趣味について語り合う姿も見られました。



<11月>

部員が全国中学生人権作文コンテスト広島県大会で優秀特別賞を獲得しました

中学3年生(現高1)の北基維心が第44回全国中学生人権作文コンテスト広島県大会（広島法務局、県人権擁護委員連合会主催、中国新聞社など後援）が広島県内182校、11178編の応募の中から優秀特別賞（広島市教育委員会賞）を受賞しました。北基は所属するインターアクト部で重ねてきた国際交流や平和貢献活動を通じて感じたことをテーマに作文を書きました。



<12月>

ポーランド、ヨルダン、リビアの仲間とオンライン交流しました

インターアクト部の恒例行事であるポーランドの高校とのクリスマス交流会を実施しました。今年は、ガザ地区出身で現在ヨルダン・リビアで難民生活を送る高校生も参加し、多文化交流の機会となりました。

交流会は日本・ポーランド・ヨルダン・リビアをオンラインで結び開催されました。ポーランドの生徒たちは、祝祭や卒業舞踏会で踊られる伝統舞踊「ポロネーズ」を披露し、クリスマスの伝統食に関するクイズでも会場を盛り上げてくれました。

本校からは世界的に有名なアニメソングを部員全員で披露し、言葉の壁を越えて交流を深めました。また、ガザ出身の生徒たちからは、イスラム教の重要な祝祭「イード・アル=フィトル（断食明け大祭）」について紹介があり、家族や親戚と特別な時間を過ごす文化を学ぶことができました。

最後はポーランド恒例の「ロウソクによる未来予想」を体験し、固まったロウの形から未来を占いながら楽しい時間を過ごしました。

短い時間でしたが、日本・ポーランド・中東の三つの文化に触れることができる大変貴重な交流となりました。インターアクト部は今後も国際的な友好関係を深め、特色ある国際交流活動を続けていきます。



<1月>

International MOCHITSUKI event (国際餅つき会)を行いました

毎年、年末年始の恒例行事として実施しているインターアクト部主催の International MOCHITSUKI Event (国際餅つき会) を今年も開催しました。本行事は、海外の方々に日本文化を体験していただくとともに、ゲストの出身国や多様なバックグラウンドについて学ぶことを目的としています。

今年は、スイス、コスタリカ、アフガニスタン、オーストラリア出身のゲストの皆さまにご参加いただきました。アフガニスタン出身のマリアムさんからは、現地の特別なスパイスを使ったチキン料理や、中東地域で親しまれている細長いお米を用いた料理をご提供いただき、つくたてのお餅とともに各国の食文化を存分に味わう貴重な機会となりました。



<2月>

「ゲーミング英語」大会を行いました

これまでにない取り組みとして、ゲームをしながら英語を学ぶ、ゲームの最中にネイティブが使う英語を学ぶことをコンセプトとしたイベントを開催しました。これまでに何度も武田に来ているオーストラリアのヒルズグラマースクール出身のアザヤさんと一緒に格闘ゲームを通して、インターアクトの生徒とクラブ以外の生徒が生きた英語を学びました。



<3月>

会長の鳥尾がグローバル未来塾inひろしま 成果報告会で発表しました

会長の鳥尾は平和創造機構ひろしま主催「グローバル未来塾inひろしま」に選出され、約半年間、県内の平和構築に関心の高い高校生と一緒に、海外研修を含む様々な活動をしてきました。そして成果報告会において約半年間の活動の成果を英語で発表しました。

『約半年間にわたる未来塾での学びを通して、私は世界平和について考えるための基盤を築くことができました。講義や国際フォーラム、長崎・フィリピンでの研修を通して、核兵器や世界情勢に関する知識を深めるとともに、課題を発見し考察する力を身につけました。特に、核兵器問題や国際的な対立の背景には、人間の過度な欲望や物資をめぐる争いがあることに気づきました。こうした学びから、人間の精神構造を理解することが世界的課題の根本的な解決につながると考えるようになりました。今後も人間性への理解を深め、世界平和の実現に向けて学び続けていきたいと思います。』という内容のスピーチを英語で行いました。(顧問による和訳・要約)



<4月>

留学カフェを行いました

今回は、アルゼンチンからの留学生であるLucia(ルシア)さん、そして数ヶ月前に本校に留学していたオーストラリア・ヒルズグラマースクールのChloe(クロエ)さんが、日本旅行中に本校へ立ち寄ってくれ、特別ゲストとして参加してくれました。参加した生徒たちはそれぞれお弁当を持ち寄り、自己紹介を行った後、アルゼンチンやオーストラリアについて積極的に質問をするなど、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。インターアクト部のみならず一般の生徒も良い国際交流の時間が持てました。



<5月>

東広島21ロータリークラブの例会において活動報告しました

伯和ホテルにおいて、提唱クラブである東広島21ロータリークラブの例会にお招きいただき、2025年度の活動報告をさせていただきました。東広島の経済界を引っ張っておられるロータリアンの前でのプレゼンテーションは緊張しましたが、皆さんが真剣に耳を傾けてくださったおかげで、しっかりと発表することができました。米山奨学生のベトナムから来られているお二人とも知り合うことができ、今後一緒に活動できる可能性にワクワクしました。



<6月>

インターアクト指導者研修会に参加しました

呉市において、広島県のインターアクトクラブに所属する中学生・高校生が一堂に会し、将来の地域社会や国際社会を担うリーダーの育成を目的とした「インターアクトクラブ指導者研修会」が開催されました。今回の研修会は、呉工業高等専門学校の皆様が企画・運営してくださいました。フィールドワークでは、呉工業高等専門学校の学生の皆様がリーダーとして各グループをまとめてくださり、生徒たちは安心して活動に参加することができました。他校のインターアクトクラブの生徒たちとの交流を通して、新たな視点や考え方に触れることができ、非常に充実した一日となりました。今後も他校との共同活動や交流を積極的に行いながら、地域社会や国際社会に貢献できるリーダーとして成長していけるよう活動を続けていきます。

